

## 「自分の現実」は、自分でつくる夏

～カメがウサギに勝てたのは？～

7月を迎え、1学期も残すところあと6日となっています。先日の加東市総体では、満足のいく結果を出せましたか。これまでの努力が試される、緊張感のある時間だったことと思います。勝った喜び、負けた悔しさ、全てが今後のみなさんの大切な財産です。次の大会がある人も、そうでない人も、今後の「自分」の原動力となるでしょう。

さて、イソップ童話の「ウサギとカメ」の話

は知っていますか？なぜ、カメはウサギに勝てたのでしょうか。「そんなん、ウサギが手を抜いたからやん」と聞こえてきそうです。正解ですね。カメより足の速いウサギは「いつでも勝てる」と油断したのです。では、中学生として、見方を少し変えてみましょう。



「なぜカメが勝ったのか？それはウサギを見ずに自分のゴールだけを見続けたからです」人生というのは、とかく自分よりも優れた能力がある人を見て抱いた劣等感や不快な感情が『負け』の現象をつくることがあります。また、能力の劣った人に目を向けて、仕事などをおろそかにする人もいます。

ですが、本当の勝利者は、つねに自分のペースを見失わず、ゴールに向かって歩み続けている人です。人生の成功は、決してはやい人が勝つとは限らない。強い人が勝つとも限らない。本当に勝つ人というのは、あきらめずに自分の目標を見失わずに歩み続ける人です。

その人が、最後に勝つんです。

『心に響く「話し方」』青木仁志著

童話の中での相手はウサギでしたが、カメにとって相手は誰でも良かったはずです。

なぜなら、カメは一度も相手を見ていないからです。カメはゴールの旗が立っている山頂、つまり「目標」だけを見つめて歩み続けただけなのです。一方のウサギは、カメのことを気にしてばかりで、目標を一度も考えることがありませんでした。

みなさんの目標は何ですか？どんな目標であれ、そこに向かってひたむきにチャレンジして下さい。他人と比較せず、自分の進む道をしっかりと見据えて、一歩ずつ歩みたいですね。



## 加東市総体 ～白熱の1ページ～



成功者の言葉しか世の中には残らないから、「やればできる」が格言になる。  
夢は叶わないかもしれない。叶えるための努力は無駄に終わるかもしれない。  
でも、何かに向かっていたその日々を、君は確かに輝いて生きていたのではないか。  
それが報酬だと思わないか。  
為末 大(陸上選手)

### ★夏休み中の過ごし方を考えよう★

#### ①公共施設等の利用の仕方

- ・自分たちだけの場所ではありません。譲り合いの精神。後片付け。
- ・遊び方や利用の仕方など、周囲の人のことを考えましょう。

#### ②自転車のルールやマナー

- ・並進しない、一旦停止、ヘルメット着用は、自分と相手を守るため。
- ・歩行者、自転車、車、それぞれがルールを守ってはじめて「安心・安全」。

### 保護者の皆様へ 夏休みのお願い

夏休みは、子どもたちの「自己指導能力」を育成するチャンスのある時期でもあります。子どもたちに自分で計画し、判断して生活をさせてみましょう。そして、それを保護者がしっかりと評価（褒めたり、アドバイスを）してあげてください。大きな自信につながりますし、成長していきます。成功の鍵は、スモールステップで行うことです。早寝早起きやスマホ・SNS・ゲーム時間の管理、勉強時間の定着など、小さな成功を積み上げさせたいですね。